

「海のいのち」シリーズを読もう

6年 国語
「海のいのち」
読書指導・情報の活用

ねらい

- 「海のいのち」の作者 立松和平の紹介とブックトークを聞き、関連図書の「いのちシリーズ」に興味をもって読むことができる。
- 「奥付」の意味を理解し、初版年などの情報入手の仕方を知ることができる。

学 習 展 開

- ① 司書教諭による立松和平を紹介した自作のプレゼンテーションと「いのちシリーズ」7部作のブックトークを聞いて、作家と作品について知る。
- ② 「山のいのち」「街のいのち」など7部作の出版年を予想して発表する。
- ③ 奥付の見方を知り、奥付から「いのちシリーズ」の各本が初版された順をグループで調べてワークシートに記入する。
- ④ 「山のいのち」の読み聞かせを聞き、主題、キーワード、感想をワークシートに記入し、感想交流を行う。
- ⑤ 担任は今後、その他の「いのちシリーズ」を教室で個々が読むように促す。



司書教諭による作者紹介とブックトーク



奥付を見て初版年を調べる児童

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は「いのちシリーズ」の各本をグループに1冊ずつ以上用意する。
- 奥付を見て初版年を調べる際に、学校司書は奥付の記載について助言する。
- 司書教諭は担任と連携してワークシートとプレゼンテーション教材を作成する。
- 担任は事後の学習やゆとりの時間（休憩時間等）に「いのちシリーズ」を読むよう指導する。

★指導のポイント

- ◆ 「いのちシリーズ」は毎年活用するので、できるだけ複本を学校図書館に蔵書として揃える。
- ◆ 読み聞かせする本は学級の読解力の実態に合わせて「街のいのち」等に変更する。
- ◆ 「奥付」「出版年」「初版年」の言葉を押さえる。

資料

「海のいのち」「山のいのち」「川のいのち」「街のいのち」「牧場のいのち」「木のいのち」「田んぼのいのち」をグループに各1冊ずつ以上とその他の立松和平の児童書「キツネとのやくそく」「黄色いボール」「父のふるさと」「おじいさんの机」など